



TBS テレビ 2014 年度入社式

4月1日午前10時から、TBSテレビの2014年度入社式が行われ、石原社長ほか幹部が出席、新入社員の門出を祝福しました。

■ 新入社員数

26名(アナウンサー3名、技術3名、美術1名、一般18名、キャリア採用1名)

■ 石原社長訓話

皆さん、入社おめでとうございます。将来を担う、清新な皆さんを、TBSの新しい仲間として迎えることができ、心から嬉しく思っています。おりしも桜も、皆さんの入社を待っていてくれたように、一斉に咲き誇っています。皆さんも、これから、大いに研鑽を積み、大きな花を咲かせていただきたいと思います。

さて、我々の放送事業は、人々の心を豊かにする文化事業であると同時に、報道機関でもあります。時代は今、大きな転換期を迎えていると思います。消費税が上がったことは、皆さんも承知していると思いますが、国の借金が1000兆円にも上っています。また、地球温暖化により今世紀末には世界的な食糧危機が起きかねないという環境問題、原発をめぐるエネルギー問題、緊張する日中・日韓関係、集団的自衛権などの安全保障問題や、少子化問題等々、大変重要で大きな問題が山積しています。我々報道機関としては、こうしたさまざまな事象について問題点を深く掘り下げ、多角的かつ客観的な視点で報道していく社会的使命を担っています。

来年は、戦後70年であり、TBSのテレビ放送開始60周年という節目の年でもあります。我々の先輩が築いてきた報道機関としての信頼を損なうことなく、今まで以上に確実なものとしていかなければなりません。皆さんも今日から、公共性の高い社会的な使命を担う放送局の一員となったわけですから、「高い倫理観」をもって自らを律し、行動していただきたい。社会人、そして放送人としてスタートする皆さんに、まず、最初にそのことをしっかりと自覚していただきたいと思います。

放送業界を取り巻く環境も大きく変化しつつあります。少子高齢化や企業の海外転出が進む中、広告費が右肩上がりに増えていく時代はすでに終わっています。そして、インターネットの発達とモバイル端末などのデバイスの多様化により、視聴行動は大きく変化しつつあります。また、4K、8Kといった高画質テレビや、ネットと繋がるスマートテレビに対する対応も必要となります。急速に進む技術革新に対し、適格に迅速に対応していかなければ、取り残されていく時代です。こうした変革期におい

て最も重要なことは、変化を先取りしてさまざまなデバイスに最も適したコンテンツを提供していくことです。変革期は、既存の秩序を崩し、ビジネスを拡大するチャンスでもあります。変化を先取りし、勝ち残っていくためにも、皆さんの新鮮な感性や視点で、新しい風を吹き込んでいただきたい。

先日、『Leaders』というスペシャルドラマを放送しましたが、各方面から非常に高い評価をいただきました。このドラマは戦前・戦後の激動期に「国産車はいらない」という国策にひるむことなく、モノづくりに人生を賭けた男たちが、幾多の困難を乗り越え、車作りに邁進したドラマです。このドラマの中で「車は一人では作れない。いろんな人たちの力が集まって初めて一台の自動車ができる。」という趣旨の台詞がたびたび出てきます。このドラマのタイトルは「リーダーズ」という複数形になっています。つまり、「日本初の国産車」という偉業を成し遂げたのは、一人のリーダーではなく、多くの人たちの力で実現したということを象徴しているわけです。私はこのドラマで「モノづくりに対する熱い情熱を持った」人たちを見て、テレビ業界と相通ずるものがあると思いました。夢を抱き、情熱を傾け、大勢の人々に見てもらうために必死に作っていく。自動車と番組という違いだけで、モノ作りの集団であることに変わりありません。それぞれの人が持ち場、持ち場で、創意工夫し、率先して力を発揮していくことは、非常に立派なリーダーシップであり、多くの人がリーダーシップを発揮していくことが、良い番組を作ることに繋がっていくと思います。そして、何よりも大事なことは、番組に対する熱い情熱と、良質な番組を作っていくという高い志です。皆さんも入社にあたって、番組に対するさまざまな情熱や、抱負を語ってくれました。そうした、「モノづくり」に対する熱い情熱と、高い志を決して忘れないでいただきたい。

TBS の創業の精神は、「社会の移り変わりを洞察した良質な番組を制作し、最大よりも最良を目指し、社会に貢献する」というものです。TBS は開局以来『私は貝になりたい』など数々の名作ドラマを放送し、最近では『半沢直樹』や『Leaders』など、話題作を送り出してきました。時代の変化や、視聴者ニーズを本当に肌で感じ、先進性のあるオリジナリティあふれる『良質な番組』を作っていくことが、TBS の DNA です。皆さんも、この創業の精神、TBS の DNA をしっかりと引き継いでいって欲しいと思います。「最も信頼のできる放送局」そして「最も愛される放送局」を目指してともに頑張っていきましょう。これからの皆さんの活躍を大いに期待しています。

以上